

# NIKKO



下 剤

# ヒマシ油 「ニッコ」

CASTOR OIL 「NIKKO」

日本薬局方 ヒマシ油

500mL

2010年11月 作成(第1版)	
日本標準商品分類番号	872356
承認番号	16100AMZ01311
薬 価 収 載	1979年1月
販 売 開 始	1979年1月
再 評 価 結 果	1981年8月

貯 法：室温保存  
使用期限：3年(表示の使用期限を参照すること。)



製造販売元  
**日興製薬株式会社**  
岐阜県羽島市江吉良町1593

### 【禁 忌】 (次の患者には投与しないこと)

- 急性腹症が疑われる患者 [蠕動運動亢進作用により、症状を悪化させるおそれがある。]
- 痙攣性便秘の患者 [蠕動運動亢進作用により、症状を悪化させるおそれがある。]
- 重症の硬結便のある患者 [本剤では効果が得られず、症状を悪化させるおそれがある。]
- ヘノボシ油、メンマ等の脂溶性駆虫剤を投与中の患者 [これらの薬剤の吸収を促進して中毒を起こすおそれがある。]
- 燐、ナフタリンなどの脂溶性物質による中毒時 [これらの物質の吸収を促進させるおそれがある。]

### 【組成・性状】

- 組 成  
本品はトウゴマ *Ricinus communis* Linné (Euphorbiaceae) の種子を圧搾して得た脂肪油である。
- 性 状  
本品は無色～微黄色澄明の粘性の油で、わずかに特異なおいがあり、味は初め緩和で、後にわずかにえぐい。本品はエタノール(99.5)又は、ジエチルエーテルと混和する。本品はエタノール(95)に溶けやすく、水にほとんど溶けない。本品は0℃に冷却するとき、粘性を増し、徐々に混濁する。  
比重 d<sub>20</sub>:0.953~0.965

### 【効能・効果】

便秘症、食中毒における腸管内容物の排除、消化管検査時又は手術前後における腸管内容物の排除。

### 【用法・用量】

ヒマシ油として、通常、成人は15~30mL(増量限度60mL)、小児は5~15mL、乳幼児は1~5mLをそれぞれそのまま、又は水、牛乳などに浮かべて頓用する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

### 【使用上の注意】

- 重要な基本的注意  
小腸の消化吸収を妨げ全身の栄養状態に影響を及ぼすことがあるので連用を避けること。

### 2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度 不明
消化器	悪心、嘔吐、腹痛等
過敏症 <sup>注</sup>	過敏症状

<sup>注</sup> このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

- 高齢者への投与  
一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。
- 妊婦、産婦、授乳婦等への投与  
(1) 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。[子宮収縮を誘発して流産の危険性がある。]  
(2) 授乳中の婦人には投与しないことが望ましい。[ヒト母乳中に移行し乳児の下痢を起こすことがある。]
- その他  
即効性であるので就寝前の服用を避けさせること。



キャップ：PP

ガラス：瓶



製造番号

使用期限